

## 「いじめ問題」

～かけがえのない子どもたちのために～

人権のひろば～人権・同和教育シリーズ～



「いじめ」は重大な人権侵害であり、命に関わる問題です。テレビや新聞などで取り上げられる機会も増えており、関心が高い人も多いのではないのでしょうか。

文部科学省は「いじめ」について、「当該児童生徒が、一定の人間関係のある者から、心理的、物理的な攻撃を受けたことにより、精神的な苦痛を感じているもの（学校の内外を問わない）」と定義づけています。

### 【いじめをなくすために】

本市では、今年度も全小・中学校でいじめに関する調査を実施し、一人ひとりに教育相談を行いました。➤

また、道徳の時間をはじめ、あらゆる教育活動を通して「いじめ」をなくす取り組みを進めています。加えて、「かけがえのない子どもたちのために」という保護者向けのリーフレットを全小・中学校の保護者に配布し、ともにいじめをなくすことを呼びかけました。



いじめの早期発見・対応には学校だけでなく、家庭や地域とのネットワークが不可欠です。「これはいじめかも…」と疑われ

た場合には、学校や教育委員会などにご一報ください。

◆いじめ等相談窓口 教育委員会  
【☎354-8169 8:30~17:15(平日)】

子どもたちのために、学校・家庭・地域が連携を強め、協力しながらよりよい教育環境づくりを進めていきましょう。

■問い合わせ先  
人権・同和教育課  
【☎354-8253 FAX354-8308】

## 表紙こぼれ話

今回は、昨年7月に行われた全日本少年少女武道（弓道）練成大会にて全国入賞を果たした弓道の全国大会常連校、メリノール女子学院中学校弓道部の皆さんに表紙を飾っていただきました。



部をまとめる頼もしい3年生、部長の阪田さんと副部長の岸本さん、そして東海地区中学生弓道選手権大会を1月27日に控えた2年生の白井さんに弓道の魅力や今後の目標を聞きました。



阪田奈央さん

■阪田さん 静かな雰囲気の中で、ひとつのことに集中できるところが弓道の魅力です。もっとたくさんの人に弓道をしてもらいたいと思います。高等学校に進学しても、弓道を続けたいです。



白井佑佳さん

■岸本さん 弓道をするかっこいい姉の姿を見て、私も弓道を始めました。高等学校に進学しても弓道を続け、姉と一緒に大会に出場したいです。



岸本知巳さん

■白井さん 弓道の魅力のひとつは、射る時の形がきれいなところです。東海大会は、憧れである3年生の先輩たちが優勝した大会なので、私たちが優勝目指して頑張りたいです。

### 取材後記

礼儀正しく、落ち着いた様子で取材に応じていただいた選手の皆さん。礼儀作法を重んじる弓道の精神が、素晴らしい人間性を育てているのだと感じました。それぞれの目標に向かって頑張る皆さんを、これからも応援しています。

■問い合わせ先  
広報広聴課  
【☎354-8244 FAX354-3974】

有料広告掲載欄

エネルギーと夢とともに50年



LPガスと太陽光発電など、複数のエネルギーを有効に組み合わせ、エコと快適を両立したライフスタイルをご提案します。

エネルギーと住まいの  
朝日ガスエナジー株式会社

TEL: 059-332-2311

四日市市西坂部町4789-2

URL: <http://www.asahigas.co.jp>

E-mail: [info@asahigas.co.jp](mailto:info@asahigas.co.jp)

本欄は広告であり、広告の内容に関する一切の責任は広告主に帰属します。

■人口 314,016人 [11月末日現在(-493)] ■火災件数 12件 [11月分(+9)] ■交通事故件数 937件 [11月分(+56)] (前年比)